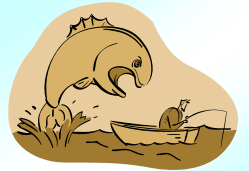


# 財産評価 ～取引相場のない株式⑨～

今回は、純資産価額方式による具体例をみていきます。前回説明がもれてしまいましたが、時価とはこれまでみてきた相続税評価額を指します。



## (7) 具体例

【図 3】は、(株)磯野パンの時価・簿価による貸借対照表です。前提は、前々回の類似業種比準方式の具体例と同様で発行済み株式総数が 200 株（うち波兵衛 160 株所有）、同社は大会社に該当します。一株当たりの純資産価額を求め、類似業種比準株価と比べてみましょう。

簿価・時価貸借対照表 (単位: 百万円)

|      | 時価  | 簿価  |     | 時価 | 簿価 |
|------|-----|-----|-----|----|----|
| 現金預金 | 50  | 50  | 借入金 | 80 | 80 |
| 売掛金  | 10  | 10  |     |    |    |
| 有価証券 | 10  | 20  |     |    |    |
| 土地   | 80  | 20  |     |    |    |
|      |     |     | 合計  | 80 | 80 |
| 合計   | 150 | 100 |     |    |    |

【図3】

### ① 時価による純資産価額

まず、時価による純資産価額を求めます。有価証券と土地の時価が簿価と異なりそれぞれ 10 百万円、80 百万円となっています。その結果、時価による資産の評価額は 150 百万円と膨らみ、時価による純資産価額は  $150 \text{ 百万円} - 80 \text{ 百万円} = 70 \text{ 百万円}$  となります。言い換えれば、すべてを換金・清算すると 70 百万円のお金が残るということです。

### ② 簿価による純資産価額

これは前回の貸借対照表で見たものと同じです。

資産が 100 百万円、負債が 80 百万円のため、純資産価額は  $100 \text{ 百万円} - 80 \text{ 百万円} = 20 \text{ 百万円}$  となります。

### ③ 売却益に対する税金

②の簿価 20 百万円のを売却すると①の 70 百万円になるということは、仮に会社を解散した場合には 50 百万円の利益が生じるということです（検算：有価証券は 10 百万円の売却損、土地は 60 百万円の売却益で、通算すると 50 百万円の売却益ですね）。この売却益に対して 42%の税金が課税され、納付しなければならない税額は  $50 \text{ 百万円} \times 42\% = 21 \text{ 百万円}$  となります。

### ④ 分配できる金額は・・・

そうすると、①の時価による純資産価額から③の税金部分を控除した金額が株主さんに分配される金額となります。その金額は  $70 \text{ 百万円} - 21 \text{ 百万円} = 49 \text{ 百万円}$  です。もう簿価は関係ありません。

### ⑤ 一株当たり純資産価額

発行済株式が 200 株のため、一株当たりの純資産価額は  $49 \text{ 百万円} \div 200 \text{ 株} = 245,000 \text{ 円}$  です。

### ⑥ 類似との比較

(株)磯野パンは大会社なので、類似業種比準価額方式と純資産価額方式のうちいずれか低い方を評価額とすることができます (NO.150 参照)。前々回計算した同社の類似業種比準株価は 665,400 円でしたので、今回は純資産価額を採用した方が有利です (類似 665,400 円 > 純資産 245,000 円)。波兵衛の持分に対する評価額は  $245,000 \text{ 円} \times 160 \text{ 株} = 39,200,000 \text{ 円}$  となり、当初の出資額 8,000,000 円 (50,000 円 × 160 株) と比べると 4.9 倍その価値 (評価額) は上昇していますが、類似業種比準株価よりは安く済みましたね。

カツオ『4.9倍返した!!』

ワガメ『いまいちね』